

区民ワークショップ実施報告

2 深川南部地区

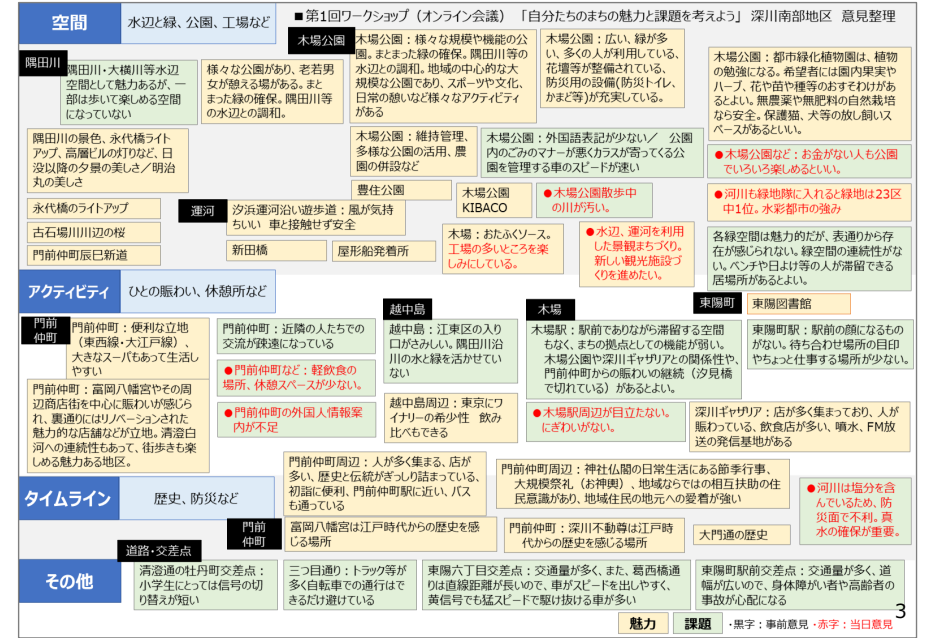
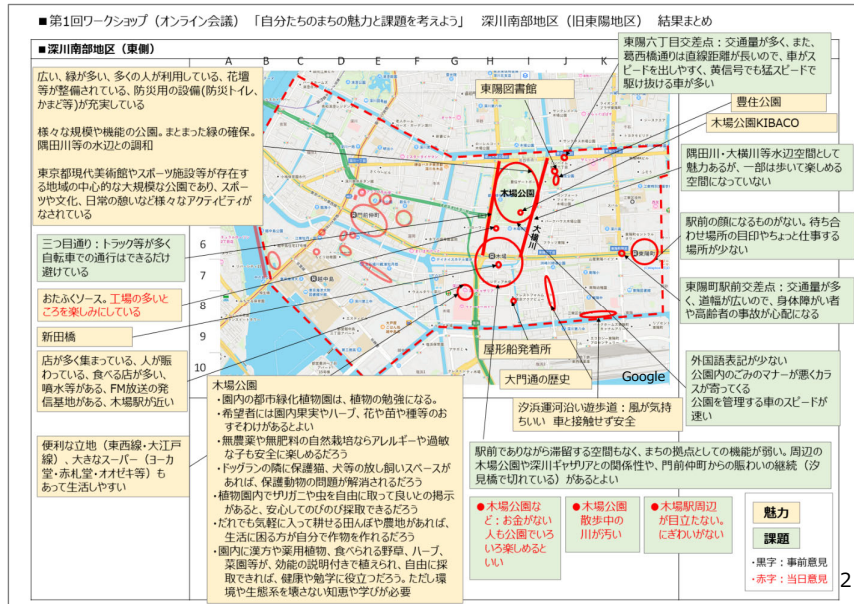
第1回：自分たちのまちの魅力と課題を考えよう

第2回：自分たちのまちの「こうしたい」を考えよう

第3回：自分のまちのプロジェクトをまとめよう

2 深川南部地区

■第1回 自分たちのまちの魅力と課題を考えよう



■第1回ワークショップ（書面開催） 「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川南部地区 結果まとめ

■深川南部地区

- ・深川1丁目：ノスタジックな東京、小津シネマを思いの通りいなることにアート看板なスレイトウがしら歩き楽しさが出てくると思います
- ・深川川テラス→海洋大→豊洲 水門→三箇の川沿いの歩けると良い
- ・隅田川テラス：海洋大→豊洲 水門→三箇→豊洲 水縁が多く散歩に適している。 海洋大近くも早く歩けるよになると良い
- ・深川八幡、深川不動尊：賑やかさが残っている。老舗店がまだ残っているの深川らしさを残すには、
- ・越中島、海洋大近く、越中三小の子供の声：歩道橋を外してほしい。キャッチボールのできる公園が欲しい
- ・相模橋：門神の下町そぞろ歩きを楽しんで、越中島のツツノフで好きな本を選び、目前に広がる左の川辺と高層マンションを左右に見ながら歩くと、小さな幸福感があります
- ・隅田川：大好きな！亀井犯科刑罰池波正太郎君（大川の隠居人が年月を重ねた存在を感じる人物になり、隅田川の流れを思いと、川の流れと日々が重なる。そのドラマ快を思える川

- ・深川観光案内所：多くの人に寄ってもらえる場所へ
- ・深川南部地区：河川が少なくなったが、緑、公園が増えるといい。 例：高速道路下、深川公園など
- ・木場公園：広場の効用、集える大きな場、かち屋親睦会の良さ、足が向う場所です
- ・豊住テニスコートの豊住公園を明るい雰囲気の良い公園に
- ・平住橋より四ツ目通へ向かう緑道を見通し良い公園にする
- ・深川高校と秀和レジデンスの間の道路：パーキングメーターを撤去し、歩道の拡張
- ・東陽町：品川区から終の住居を江東区に 永代通の貢す〜皇居 四目通の貢す〜銀座町 スキルした東陽町が好きです
- ・東陽町駅：これだけの1日乗客がババといない。うすもれたような風。入口周辺、スクリレイトウ、あゝ、東陽町に着いたよとほするようないやうなレイトを周辺にきこうするの車内からの解放感を心理的にフォロー
- ・深川小学校と深川公園の間の道路：歩道の幅を広げて花壇を健甕す
- ・江東保健所〜前連河：前の連河沿い春〜白し花、こぶしが白木達〜 スッキリ清らかで車の心配なく歩ける良いところだと実感しています

凡例

魅力

課題

隅田川沿い

水彩都市、内部河川

- ・隅田川テラス～海洋大～豊洲水門
→三崎の川沿いが好きと良い
- ・隅田川テラス：海洋大～豊洲水門
→三崎～豊洲 水と緑が多く散歩に選んでいる。海洋大でも早く歩ける川になると思いい
- ・隅田川1：大好きな「豊平犯科館」池袋正太郎著「大川の商店」が年月を重ね存在感ある人物になり、隅田川の流れると思えば、川の流れると日々が重なる。そのドラマ性を感じる川

ウォークパブル

- ・相生橋：門仲の下町をぞろぞろ歩きを楽しんで、試み街のウォークが好きな本を選び、目前に広がる左右の川辺と高層マンションを左右に見ながら歩とき、小さな幸福感があります
- ・深川市街地区：河川が少なくなったが、緑、公園が増えるがよい
例：高速道路下、深川公園など
- ・深川ギャリリアのビオトー：池、歩道を自然の地形にしている。散策しやすい

東陽町

駅前空間

・東陽町：品川区から終の住居を江東区に永代通の真つぐみ屋居四ツ目通の真つぐみ～緑糸町駅までした東陽町が好きです

・東陽町駅：これだけ多くの日東旅客が利用しない。うずもれたような駅。入口周辺、ススキレリアの付し。あつて、東陽町に慣れ、じつとするとうずもれたエリアを局地にあつたの車内からの解放感を心理的にフッロー

門前仲町

歴史資源

・深川1丁目：ノスタルジックな東京。小津シネマを町のいろいろなところにアート看板などレリアトリした歩く楽しさが出てくるがよい

・深川八幡：深川不動尊：賑やかさが失われつつある。老舗店が店を閉じていくので深川らしさを残すには、
・深川観光案内所：多くの人に寄ってまちを案内所へ

歩行者空間

- ・深川高校と秀和レジデンスの間の道路：パークメーターを撤去し、歩道の拡張
- ・東陽小学校と深川高校の間の道路：歩道の幅を広げて花壇を増やす
- ・江東保健所～前運河：前の運河沿い春～白い花、こひかき白木通か～ススキリ清からで里の心配なく歩ける良いところだと実感しています

越中島

東京海洋大との連携

・越中島、海洋大近く、越三小の子供の声：歩道橋を外してほしい。キャッチボールができる公園が欲しい

・越中島：東京海洋大学専門領域の「海」をテーマに越中島地区をユースアふれる海魚など楽しまじつづ

・越中島通り：キャキ並木は残してほしいが落ち葉も多い

木場公園

緑のネットワーク

・木場公園：広場の効用、集える大きな場、しかも景観立地の良さ、足が向かう場です

・豊住テニスコートの豊住公園を明るい雰囲気の良い公園に

・平住橋と四ツ目通に向かう緑道を見通し良い公園にする

凡例

魅力

課題

■第2回ワークショップ「自分たちのまちの『ごうたい』を考えよう」 深川南部地区 プロジェクト位置図

■深川南部地区

内部河川

水辺清流化プロジェクト
(仙台堀川公園の水辺等)

- ・水都府市江東として、子どもが水遊びできるような水のきれいな公園にしたい
- ・汽水を真水化したし、噴水等々水を常にかかち、清流化した水辺の清流化を持続する
- ・太陽光で動くポンプ等の導入等を進めたい

景観街作りの会
(内部河川の整備、護岸、川床の設置)

- ・カヌー、船酔、観光船からの景色は魅力的
- ・海洋大学の校内を解放して区民が明治池を見ながら運河の景色を楽しんでもらいたい

遊歩道をフラーロードに
(バ・サイド全線)

- ・遊歩道は魅力的だが、あまり利用されずランナーを見かけない
- ・デッキベンチ+花+室内板+個室ブース(シャワールーム、テラソーグース、音楽防音ブース等)企業広告なども良い

越中島 越中島 公共空間の民間活用

越中島水遊歩プロジェクト
(興田川上流)

- ・歩いて楽しむ水遊び場(興田川は大瀬川(テラス)の連続した歩行距離整備、民間事業者等の管理による力作りやリクリエーション施設の設置等)

水と緑の江東区
(大横川、越中島公園、海洋大学校内)

- ・河川に見る車輦は多彩都市江東を表す
- ・川沿いの整備と緑の乗換地の設置

**公団、緑地の憩いの遊歩地帯と行政、事業者、病院、警察、消防署等の大きな組織がなんでもできなくも、無償奉仕の日ボランティア様日取を設ける
(お金や制度にとられなくても、迅速に働き、助け合うまちづくり)**
(公園や緑道 役所や事業者)

- ・公園や緑道を遊歩地帯にして、憩いの空間を作る。
- ・区民出づりや緑道のよい、日通ち方事業者や役所、病院やスーパーや商店飲食店が自由、道路で遊ぶ、区民の雇用用、憩い、そこで仕事をする

商店街・東陽町

東陽まちめぐり
(東陽井天商店会、東陽商店街、東陽駅前商店街)

- ・歴史ある商店街同士の連携強化
- ・スズクアーク・クルサー、イムネーション、大売出し、喜楽イベント、スポーツパレード、絵画展、歩行者天国など
- ・夜更けやすしいに駐輪場、駐車を設置または提供する。商店街のイメージの統一(緑色、色味、デザイン、照明、看板、フラッグ、ベニヤ等)をはかり、居心地の良い場所を目指す

観光 エコパルティ

KOTOをふるさとしプロジェクト
(観光施設受託)

- ・観光施設や公園のトイレや設備等のオルゴールパーティデバイス(UD・UB)
- ・UD研究所や相談所等々の開設
- ・新規施設のUD設計体制の構築や(APAC)コントロール制度の創設等

市場 交通

木場⇒新木場陸便
(木場と新木場繋ぎ)

- ・木場の魚売り、川並などの伝統と、ビッグサインと解きメッセの起点である新木場の未来性を、相互に引き出す
- ・国内外の水産物流通水産両国バードの運行、国内外的にお客様を新木場と木場へ迎え入れる

門仲町商店街げんきプロジェクト
(商店街)

- ・ゲータウキを設置し、商店街や行政、テラソーグ事業者と連携
- ・商店街によるデジタルカメラ一考案、配達提供
- ・公園や水辺空間、江東区民サービス所としての活用(生活者・子供食堂等)でのゲータウキ販売
- ・世界各国民の料理や食文化、経済活性化

だれでも暮らしやすい弱い方に合わせた優しい家族や仲間を増やし協力しあおうつぱり
(学校やバー)

- ・より若い人や社会への還元や無償奉仕ができるよ、役所が事業者と共に無料商品券を発行
- ・無償で与える事や助け合いの心で成立したお金の風土を養う
- ・(生活力)弱い、弱い救済を優先し、意見要望を街に反映する為、行政や組織が弱い方を尊重し、全力を絞る

1

■深川南部地区

観光 歴史
水辺と緑 商店街

深川めぐり食べて見て隔田川テラスへの散歩道
(深川地域全て)

★歴史★食★神社寺(大きな空気感をつまみそこを実感する歩き)
・新大橋(浮世絵の優美比較)→芭蕉記念館(カレイド、深川ゆめ、のちろ蔵) 女性美的清澄地、男性美的永代橋
・白河かつらのオシャレ感→八幡宮(巨大御輿)不動尊
・相主様をわたりのびやかなバーサイドで深呼吸

観水公園
親水公園活用プロジェクト
(古石場川親水公園等の川の縁道空間)
・魅力的な空間整備がされているが、アクセス性や認知性が悪いこと、滞留する空間が少ないなど活用されていない部分があると思われる。

越中島 商店街
牡丹町さくら商店街憩いの場づくり
(牡丹町商店街)
・商店街に並行する散歩コースを活用する。川沿いの緑の並木を増やす。テーブルや椅子、ベンチを設置したい憩いの場づくり。

書面
書面

木場
木場駅活性化プロジェクト
(木場駅前2丁)
・駅前でありながら滞留する空間もなく、まちの拠点としての機能が弱いと思われる。

深川公園→古石場川親水公園散歩公園
(牡丹町商店街)
・古石場川親水公園を散歩スポットに。自転車置き場、緑化、ベンチ等休憩スペースの充実。明治丸周辺を歩けるように、連続した散歩コースとする。

※赤字：当日意見

深川南部地区の検討エリア

第2回ワークショップにて、プロジェクトが多く寄せられたエリアを中心に、検討エリアを設定しました。



3

門前仲町

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫色：OH意見

観光施設におけるユニバーサルデザイン推進



- 富岡八幡宮：観光ルートに加え、八幡さんの中の資料館、神輿、神木などを開放するなど、景観、資源をオープンにする
- 深川不動尊：境内を開放する
- 富岡八幡宮・深川不動尊周辺には、お金が集まる。近隣の年配、お子さんなど地域に正月の集まりや富をお分けできるといい（緑日）

- 仲町通り商店街の北側：古い建物のリノベーションが活発。新しい人が入っている。（特に裏通り）

- 商店街：タウンマップを普及させる

観光施設と商店街の連携によるオープンエア・レストラン

5

門前仲町

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫色：OH意見

将来ビジョン案	将来イメージ（第2回WS意見）	取組（第2回WS意見）
歴史と伝統が生活に根付きながら、新たな文化が生まれ、観光拠点と生活しやすさが共存する。地域住民の愛着の強いまち	- まちなかの観光施設でのユニバーサルデザイン実現 - コロナ禍でも元氣な、まちの中心となる商店街 - UDの設備、観光案内の充実した、障がい者、女性、子ども安心して訪れるまち 「ふるさと」にしたいまち。みんなの連携を通して親しみが持て、誇れるまち - 新住民、三世代連携してイベントがしやすいまち。各主体が連携した盆踊りが盛ん（夜空に提灯） - 門前仲町は漁師町として発展。観光だけでなく歴史がある - 歴史と伝統が維持されつつ、新しいものが快く受け入れられるイメージ	観光施設におけるユニバーサルデザイン推進：富岡八幡宮、深川不動堂、門前仲町駅等の観光施設や公園のトイレや設備等のオールユニバーサルデザイン（UD）化、UD研究所や相談所等の開設、新規施設のUD設計体制の構築や（パブリックコメント制度の創設等。身体障害者が通ることが大変であり、トイレなどの施設での説明も不足しているため、取組の充実が必要（みんながつかりやすい施設にする）。地域オリジナルのまちのイメージを表現したピクトグラム作成。 観光案内所の表通りへの移設：門前仲町の観光案内所は、（日本橋の傍にある中央区のように）裏通りから、より目立つ分かりやすい場所に移設する。 観光施設と商店街の連携によるオープンエア・レストラン：タークキッチン（配達専門の飲食店）を設置、商店街や行政、デリバリー事業者が連携し、商店街オリジナルメニューや世界各地の料理を提供・配達。観光施設、公園や水辺空間、江東区内でニーズがある場所（住宅街・子供食堂等）で、移動販売車やキッチンカー販売を行うことのできる空間を整備する。富岡八幡宮など観光地が多く、深川めしなどの食文化がある。リノベーションによる新しい店舗などもみられる。商店街と連携した活性化と情報発信を強化する

4

東陽町・木場周辺

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫色：OH意見

将来ビジョン案	将来イメージ（第2回WS意見）	取組（第2回WS意見）
人情味あふれる人々の支え合いによって繋がる地域の交流拠点	- だれもが暮らしやすい、優しい家族や仲間を増やして協力しあう街づくり - 昭和のかおり残る人情味溢れた商店街。子供を地域で見守ってくれる、地域住民同士の交流拠点。下町らしさ、人情のまちの特徴を生かす - 木場の角乗り、川並などの伝統と、ビッグサイトと幕張メッセへの起点でもある新木場の未来性を、相互に生かす	歴史ある商店街同士の連携による駐車場・駐輪場共同設置、まちなみルールの統一：スタンパラー、クイズラリー、イルミネーション、大売出し、歩行者天国などの連携・共同実施。来街しやすいうに駐輪場、駐車場を設置または提携する。商店街のイメージの統一（植栽、デザイン、照明、アーケード、フラッグ、ベンチ等）を図る。東陽には50年の歴史ある3つの商店街があるが、横のつながりが不足。若者の参画を促す。和傘イルミネーション 商店街や事業所を通じた生活弱者への支援強化：生活弱者へ役所から無料/割引商品券を発行。助け合いから成り立つ街の風土を養う。（生活力の）弱い方の救済を優先する為、行政や組織が弱い方を尊重する（仕組みの創設）
東陽町：区役所を含むまちの中心が明確であり、広域拠点としての機能が集積したまち	区役所を含むまちの中心が明確である	まちの顔となる広場の公共空間整備：待ち合わせ場所など、まちの顔となる場所の創出。区役所周辺も含めて取り組む
木場：駅前広場と駅周辺の機能が充実したまち	- まちの拠点として、駅前広場と駅周辺の機能が充実したまち - 舟運による周辺エリアとの交通結節点	木場駅活性化・駅周辺の機能強化：駅前でありながら滞留する空間がなく、木場駅周辺はまちの拠点として機能強化が必要。ランドマーク、駅前広場などをつつてイメージづくりを進める。サイン計画も必要 木場⇄新木場水陸便の運航：屋形船の定期便や水陸両用バスの定期運行。国内外からのお客様を新木場＆木場へ迎える

6

東陽町・木場周辺

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見

まちの顔となる広場などの公共空間整備

確認？
第1回の意見反映について

木場駅活性化・駅周辺の機能強化
木場⇄新木場水陸便の運航

歴史ある商店街同士の連携による
駐車場・駐輪場共同設置、まちなみルールの統一
商店街や事業所を通じた生活弱者への支援強化

Google

4

水辺と緑・木場公園

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見

水辺の清流化
遊歩道のフラワーロード化
公園や緑地の遊歩地化
古石場川親水公園等の河川の緑道空間活用

木場公園：防災面でも重要（避難場所、トイレなど）であるため、PRすべき
木場公園：防災意識を高める運動会
木場公園周辺の大江戸線の大井町駅周辺の倉庫施設：観光施設としての活用

内部河川における川床の設置・観光船の運行

Google

9

水辺と緑・木場公園

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見

将来ビジョン案	将来イメージ（第2回WS意見）	取組（第2回WS意見）
隅田川に続く美しい水辺の遊歩道が、人々の交流拠点になるまち	- 水彩都市江東として、子どもが水遊びできるような水のきれいな公園 - ランナーや散歩の人々が行き交う水辺の遊歩道（フラワーロード） - 景観に配慮、水辺と緑の連続 - ライトアップ、夜店などで夜もにぎわいが創出される	水辺の清流化：汽水を真水化し、噴水等で水を常に動かし、清流化した水辺の清流化を持続する。太陽光で動くポンプ等の導入を進めたい 遊歩道のフラワーロード化：デッキ+ベンチ+花+案内板+個室ブースを設置。シャワーブース、テラークラース、音楽防音ブース等・企業広告としても良い 公園や緑地の遊歩地化：区民まつりや緑日のように、日頃から事業者や役所、病院やスーパーや商店や飲食店が自由に道路、緑道、公園などで出店（公共空間の民間活用）の推進 古石場川親水公園等の河川の緑道空間活用：魅力的な空間整備がなされているが、アクセシビリティや視認性が悪いことや、滞留する空間が少なくないなど活用されていない部分があるように思われる。アクセシビリティ、視認性、滞留空間の向上による改善。古石場川沿いのベンチ、日陰等の滞留場所の整備。木場公園～仙台東川に80箇所以上あるパブリックアートの活用。大横川の水辺のテラスの連続性の確保（現在立ち入り禁止の場所があり、水辺空間として連続して繋がらない）
川床が設けられ、その河川をカヌーや和舟等がたゆたうまち	- カヌー、和船、観光船から、川床の景色を楽しむ - 屋形船、遊歩道、水上バスなどの多様な活用が進む	内部河川における川床の設置・観光船の運行：仙台東川公園の水辺等、内部河川に川床を設置し、飲食を提供するとともに、和船や観光船からも景色を楽しむ

8

隅田川・越中島

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見

将来ビジョン案	将来イメージ（第2回WS意見）	取組（第2回WS意見）
大横川から隅田川まで連続する、歩いて気持ちのいい水辺の空間づくり	- 海洋の歴史資源が連続し、体も動かせる水辺の遊歩道 - 水彩都市江東を反映出来る隅田川、大横川を中心とした水辺と共に暮らす街	隅田川～大横川テラスの歩いて楽しい水辺の空間づくり：隅田川と大横川テラスの連続した歩行空間整備、民間事業者等の管理によるカフェやボルダリング施設の設置等 船着場の設置：川辺の整備と船の乗降場の設置。水辺にそって遊歩道、川には誰もが楽しめる遊覧船、和船、カヌーを配置する - 現在越中島の前の道路を整備しており（越中島公園～）、通り沿いには桜の名所、明治丸記念館、海洋大学の歴史遺産などがあって観光ルートになる。明治丸付近で歩道が途切れているが、すべて連続させて散歩道を活用する。
まちの賑わい、桜並木と川沿いの遊歩道が暮らしに寄り添うまち	隅田川や明治丸との連続性を感じさせる、商店街と川沿いの遊歩道の散歩コース	深川公園～古石場川親水公園の散歩道の整備：牡丹町商店街の川沿いの散歩道に、桜並木、ベンチなどの休憩スペースを整備。明治丸と連続した散歩コースとする。 越中島通りの歩行者空間確保：コロナで自転車が増えていることを受け、越中島通りの素晴らしいウキヤを活かし、低木のツツジは撤去し、歩行者空間を確保する。

10

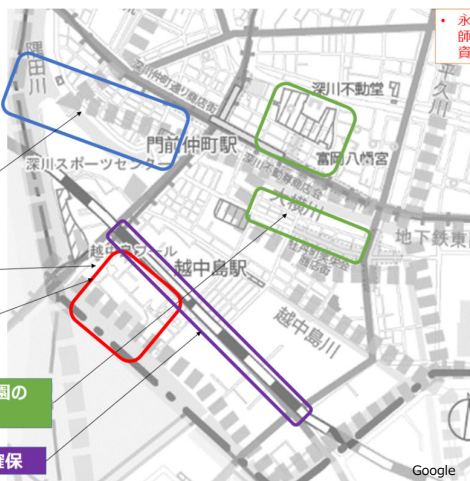
船着場の設置

隅田川～大横川テラスの
歩いて楽しい水辺の空間づくり

- 東京海洋大学：まちとの連携（明治丸など）
- 東京海洋大学周辺の遊歩道：水辺のまちづくり、校内の開放

深川公園～古石場川親水公園の
散歩道の整備

越中島通りの歩行者空間の確保



- 永代は（大横川）銀
師町として繁栄。観光
資源化が可能

■第3回 自分のまちのプロジェクトをまとめよう

深川南部地区の将来ビジョン案（WS最終案）

ワークショップで検討した4エリアの地区別将来ビジョンに基づき、深川南部地区全体の将来ビジョン案をとりまとめました。ビジョン案は今後、行政と調整し表現を精査する予定です。

ふるさと隅田川の水辺に、
安全安心、歴史と伝統、下町人情が生きる、多様性ある地域の観光・交流拠点

エリア	エリア別の将来ビジョン案
門前仲町	歴史と伝統が生活に根付きながら、新たな文化が生まれ、観光拠点と生活しやすさが共存する、地域住民の愛着の強いまち
東陽町・木場周辺	- 人情味あふれる人々の支え合いによって繋がる地域の交流拠点 - 東陽町：区役所を含むまちの中心が明確であり、広域拠点としての機能が集積したまち - 木場：駅前広場と駅周辺の機能が充実したまち
隅田川・越中島	- 隅田川に続く美しい水辺の遊歩道が、人々の交流拠点になるまち - 隅田川、大横川を中心とした水辺と共に暮らす街 - 川床が設けられ、その河川をカヌーや和舟等がたゆたうまち
水辺と緑・木場公園	- 大横川から隅田川まで連続する、歩いて気持ちのいい水辺の空間づくり - まちの賑わい、桜並木と川沿い遊歩道が暮らしに寄り添うまち

深川南部地区の将来ビジョン（WS最終案）

ふるさと隅田川の水辺に、
安全安心、歴史と伝統、下町人情が生きる、多様性ある地域の観光・交流拠点

エリア	エリア別の将来ビジョン案
門前仲町	歴史と伝統が生活に根付きながら、新たな文化が生まれ、観光拠点と生活しやすさが共存する、地域住民の愛着の強いまち
東陽町・木場周辺	- 人情味あふれる人々の支え合いによって繋がる地域の交流拠点 - 東陽町：区役所を含むまちの中心が明確であり、広域拠点としての機能が集積したまち - 木場：駅前広場と駅周辺の機能が充実したまち
隅田川・越中島	- 隅田川に続く美しい水辺の遊歩道が、人々の交流拠点になるまち - 隅田川、大横川を中心とした水辺と共に暮らす街 - 川床が設けられ、その河川をカヌーや和舟等がたゆたうまち
水辺と緑・木場公園	- 大横川から隅田川まで連続する、歩いて気持ちのいい水辺の空間づくり - まちの賑わい、桜並木と川沿い遊歩道が暮らしに寄り添うまち

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区 ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加	
ふるさと隅田川の水辺に、安全安心、歴史と伝統、下町人情が生きる、多様性ある地域の観光・交流拠点	
第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。 あたたかくやさしい下町人情の心がつくるふるさとの水辺	
カテゴリ	事前意見+当日意見
エリア毎の特徴	- エリア別の現在の長を生かした将来ビジョン案であり、その通りかと思います。さらに、各エリアに点在する魅力ある場所が、点から線となり、面となって繋がっていくことを望みます。 - 門前仲町、木場、東陽町をイメージしたピクトグラムコンテストを小学生・中学生から募集して、町のイメージシンボルとしてトーテムポールのようなものを作ってはどうか。
普遍的価値の追求 ダイバーシティ（多様性） まちづくりの理念	- 利己的な経済性や画一的な効率性を追い求めるのではなく、人の優しさ、まちなかの開放感、懐かしい自然美を感じられる場所の創出 - 行政や事業者の人への思いやり、弱者への配慮と共生共存、人同士の助け合い、自然や人の尊厳に配慮したまちづくりの理念が重要 チャリティ：公園などが気軽に集まれるところを拠点とし、困った人も含めた様々な人が交流する雰囲気や街中に広がるといい。公園の雰囲気づくりが重要。 - 江東区を若者男女外国人すべてにふるさとと思ってもらえるような神社・仏閣、公共施設のユニバーサルデザイン化を進めて欲しい。東京パラリンピックで多様性を感じた。外国人など違う立場の人にふれあう機会、ふれあう場が増えるといい。 - 八幡宮、不動尊を持つ深川南部は観光地でも有り、漁師町から生まれ変わった街は江戸時代からの歴史を持つ他にない街である。また海洋大学を始め高校、中学校、小学校を抱える文教の街であり落ち着いた街作りをしていく必要がある。文教都市としての落ち着いたまちをPRする。 - エリア→地区→区全域が分断なく繋がって、区内外はもちろんのこと、全国、海外へ江東区の良さを知ってもらえと嬉しい。姉妹都市との交流・提携を通じて江東区の良さを知ってもらう。
水辺と緑	水辺都市江東を反映出来る隅田川、大横川を中心とした水辺と共に暮らす街としたい。水辺にそう遊歩道、川には誰もが楽しめる遊覧船、和船、カヌーを配置する。 みどり・植物（ハーブ、果樹など）が身近に感じられる場所がほしい（子供たちが自然観察から学ぶ。菜園を持たない人も生活に必要な葉巻がとれるなど；木場の植物園があるが植物がとれない）そこで交流が生まれるといい。 季節ごとに楽しめる河川沿いの植樹の充実；木場公園の河津桜、大横川・仙台堀川のソメイヨシノ、小名木川の松など、植樹の資源がある。 水の清流化とともに（関東大震災の教訓：震災時に水が飲める環境づくり）、スプリンクラーの外向きでの打ち水システムのようなものを作り、夏の清涼感を出して欲しい。

3

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区 ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加	
ふるさと隅田川の水辺に、安全安心、歴史と伝統、下町人情が生きる、多様性ある地域の観光・交流拠点	
第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。 あたたかくやさしい下町人情の心がつくるふるさとの水辺	
カテゴリ	事前意見+当日意見
防災	- 防災の視点を取り入れた表現の方がよい。 - 非常時における大企業（ホテル、役所を含む）の防災機能の開放（備蓄など） - 非常時、要支援者などに対する人員の協力ができる人的連携システム（地域の大学連携など） - 区立小学校が学校避難所となっているが、町会と連携して地域の一時避難所として活用できるといい。（311時は帰宅困難者を門前仲町児童の学校で避難場所として利用+台風時は荒川氾濫に備え避難した実績あり） 垂直避難に関する制度づくり、必要な装備の確保：垂直避難に関しては学校施設で実施。マンションが戸建ての人と協定を結んで受けてもらうケースもあるが、制度としては確立されていない+災害協力関連の補助金（江東区）の活用+救命胴衣・救命ボートの確保。地上から川に降りるはしごは整備済みだが、ボートは持っていない可能性が高い。 - 江東区は昔水害都市であったが、外郭堤防が整備されて汚名を返上した。ただし、防災は重要であり外せない。災害時のトイレ封鎖などで大変な思いをするため、高層階の人は無理に避難せず、備蓄を活用して自宅待機した方がいい。 - 越中島にはスロープがきれいで船着場もあったが、住民は、震災時は船着場は使えない。避難物資の輸送は2〜3日経ってからである。深川の消防署（5か所）は消防車が少なく、おそらく被害の大きい密集エリアに出動すると思われ、当てにできない。自宅待機を基本とした方がいい。 - 防災都市としての取組は次々と引き継がれてほしい。 - 昭和25年キティ台風で亀戸に大きな被害があった。東陽町駅に同じ台風が来たら水浸しになる。
水害	- 森下商店街で、小名木川の扇橋開門を船で往復するイベントを実施していた。開門の両側で2-3mほど水位が異なる。荒川の決壊に備えている。江戸川と荒川では、江戸川の方が田んぼだったために1mほど堤防が低く決壊しやすい。 - 海水の温度上昇のため、風速が強いまま台風上陸のようにになっている。 - 高層マンションは災害に対して脆弱。EVも水揚げポンプも止まる。
門前仲町エリア	門前仲町エリアの将来ビジョン案について、当該エリアは、リノベーションによる新しい店舗などもみられるようになってきており、歴史と伝統が維持されつつ、新しいものが早く受け入れられるイメージがあるとよい。外部からくる人（通勤・通学など）も受け入れやすくなると都市の競争力が高まる。
スポーツ	スポーツを楽しむ環境づくり：木場公園のスポーツ（スケートボードなど）活用の強化+カヌー関連施設+身体障害者・子供も活用できる場づくり
ふるさとの意識	子供たちにとってのふるさとの意識醸成：この地域のマンションに住んでいる人はここがふるさと

4

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川南部地区 ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加	
ふるさと隅田川の水辺に、安全安心、歴史と伝統、下町人情が生きる、多様性ある地域の観光・交流拠点	
あたたかくやさしい下町人情の心がつくるふるさとの水辺	
第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。	
カテゴリ	事前意見+当日意見
人中心のまちづくり（包摂性）	介護に関するまち全体での環境強化が必要。介護、障害者支援の状況が厳しい（ヘルパーの不足、区内在住の難しさ（家賃面）など） 「まちの人」を中心にしたまちづくり（誰のためのまちづくりか）。障害者、学生など、様々な人のことも考える必要がある（オリンピックのレガシーも弱者のための活用）生活保護、低年金者など誰一人取りこぼされず（包摂性）住みやすいまち。誰もが安心して暮らせるまち+石川県佛子園のごちゃまぜプロジェクトが参考になる。 病院・学校での交流の場づくり：体の弱い人・子供の交流促進（ふれあい・食事の場など） 高齢者の退職後の生活場所（元気な高齢者が体の不自由な高齢者を介護するなど/シルバー人材センター以外も含む）
コミュニケーション・情報共有	情報共有のしやすいまちづくり：下町の住みやすさにはコミュニケーションが重要。昔はコミュニティでの情報共有がよくできていた。区の施策・システムが広く周知されていない。SNSの活用もいいが、face to faceのコミュニケーションが重要
※ビジョン案	川と水辺は重要。人情味あふれるもいい。安全安心は防災の概念を包含する。 「あたたかくやさしい下町人情の心がつくるふるさとの水辺」
水運の活用	- 川の駅の取り組みを進め、木場から新木場まで、人の流れが生まれるよう、木場と新木場の連携を強めたい。 - 深川は川を作ってから陸ができている。水路は水運に使われた。エンジンのついたたるま線、千代舟が走っていた（一俵は60kg）。

5